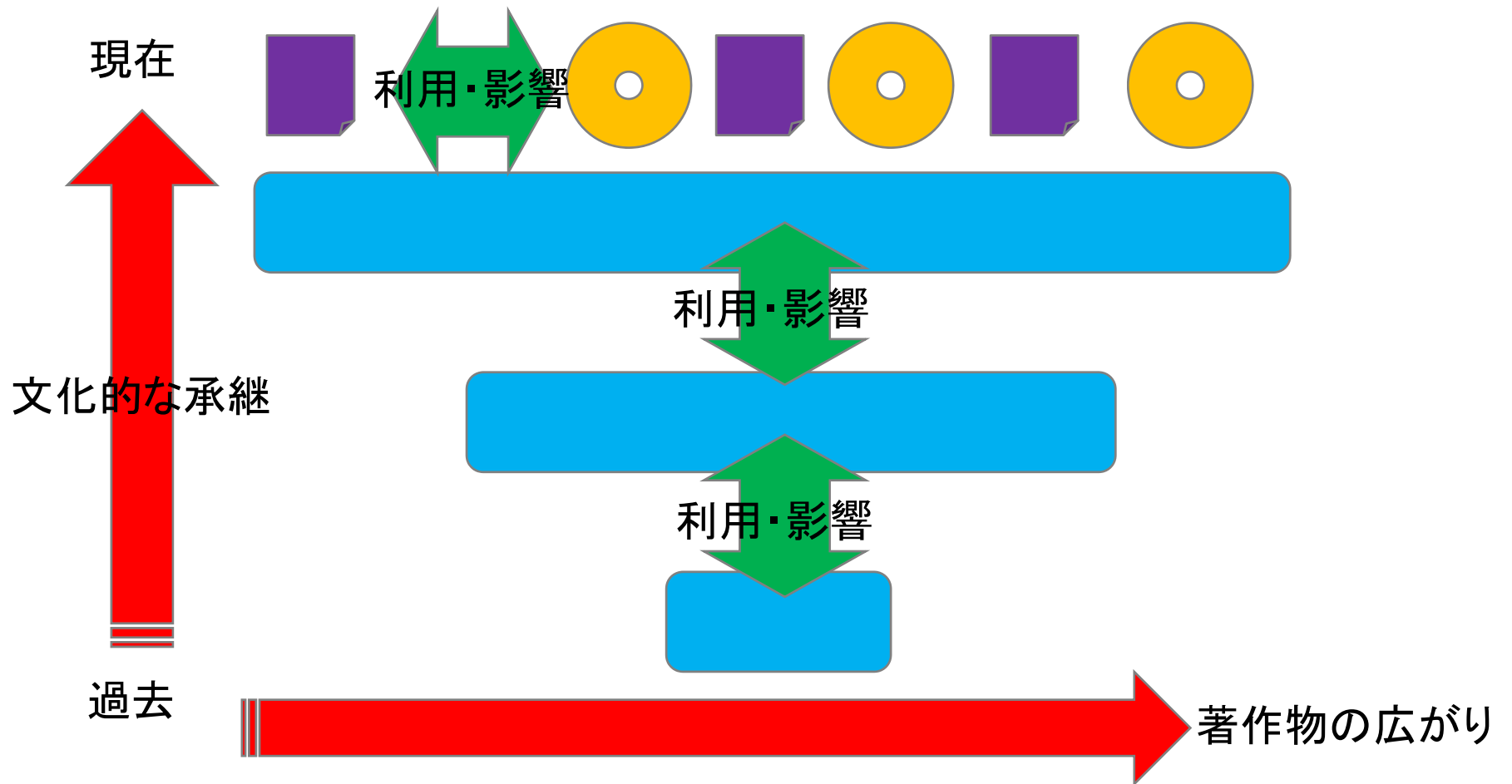


ICTの進展による利用実態からの考察

岸原 孝昌

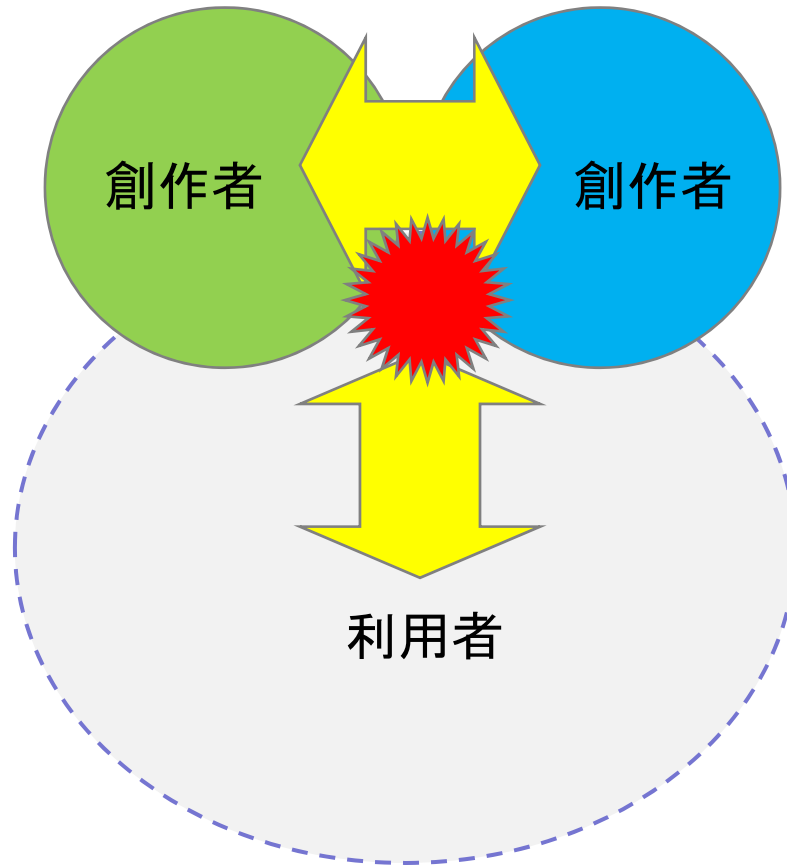
著作物の広がり

著作物は利用され影響されることで新たな著作物を産みだしてきた



創作に関するエコシステムの拡大

インターネットの登場によって、利用者が創作に与える影響が拡大



- 創作者の保護として
 - ・ 誹謗中傷等による名誉侵害
 - ・ 利用に応じた適正な利益分配

エコシステムの拡大へ

ICT(情報通信技術)の進展による変化

これまで

- ・「利用」を管理するは不可能
- ・「複製」を管理することで、著作権者の権利を保護→送信可能化
- ・「複製」するには巨大な資本による設備が必要

ICTの進展

- ・デジタル技術の進展で誰でも「複製」が容易になった
- ・個人認証技術やログ解析等による「利用」履歴の把握が可能に
- ・DRM(デジタル著作権管理)技術によつての「複製」と「利用」の管理が可能に
- ・ダウンロードとストリームの著作権利用料が現実に即していない。

「複製」よりも「利用」への制度の転換が必要では？